NPO 法人　相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

相双ＣＯＣＯＲＯニュースなごみ

第 22 号　2019 年 5 月吉日
発行元　KCN　ニュースレター　編集部
ホームページ　http://soso-cocoro.jp/
Facebook ページ　https://www.fb.me/cocoro.nagomi

2019 年度　NPO 法人総会　＆　なごみ茶和会

☘ 日時：2019 年 6 月 15 日（土）　11:00～12:00　NPO 法人総会
12:00～14:30　なごみ茶和会(さ～なごむかい)

☘ 会場：はまなす館（相馬市総合福祉センター）

なごみを支えてくださっている皆さまをお招きし、
ささやかですが、茶和会を開催いたします。ぜひご参加ください！

＊なごみ茶和会の詳細については同封のチラシをご覧ください。

2019 年度を迎えて

なごみは、避難解除となり、帰還が始まっている相双地区の南部への支援を充実させていくため、南相馬事務所に、訪問看護ステーションのサテライトを開設させる予定です。開設資金は、丹羽真一副理事長の尽力により、Japan America Society of Southern California より、寄付を頂けることになりました。あとは、増員する訪問看護師さんの確保です。皆さまご協力の程よろしくお願いいたします。（理事長　大川）

訪問看護師さん大募集！

南相馬事務所に訪問看護ステーションのサテライトをつくるにあたり、スタッフを増員します。“なごみ”で働いてみてもいいかな･･･と、ちょっとでも思って下さる方は、一度 HP の求人欄をご覧下さいますようお願いいたします。

懐食レシピ集が出来ました！

懐食（なつしょく）・心のふるさと復興プロジェクトで作成した、懐食レシピ集第２弾が完成しました！今回は、震災で家族がバラバラになって一人暮らしや二人暮らしになり、小さな食事を作るのが大変という声がありましたので、簡単にできる料理を、地域のみなさんにお聞きして作りました。作成に協力してくださったみなさん、ありがとうございました。今後は、レシピ集を交流事業や訪問活動に活かしていきます。（伏見）

なごみ応援団（NPO 法人の会員）を募集中です！

1．正 会 員　　年会費　　10,000 円
2．賛助会員　年会費　一口　3,000 円
3．寄付

【新規会員のお申し込み方法】以下の方法で会員申し込み後、郵便振込にて会費を振り込んでください。

①FAX または郵送での申し込み：会員種別（正会員または賛助会員）・氏名・住所・所属先（職業）・電話番号・メールアドレスを明記の上、下記住所に申込書を郵送または FAX してください。

②なごみホームページからの申し込み：http://soso-cocoro.jp/

★会員になる　ボタンをクリックして申し込みフォームからお申し込みください。

会費・寄付の振り込み方法：郵便振込
口座番号：02260-0-126825
口座名義：特非　相双に新しい精神保健福祉をつくる会

【お問い合わせ】なごみ相馬事務所
〒976-0016
福島県相馬市沖ノ内 1 丁目 2-8
電話　0244-26-9753
FAX　0244-26-9739
アドレス　nagomi@soso-cocoro.jp

各事業所より

訪問看護を開設して丸５年が過ぎました

　あの開設の日が昨日のことのように思い出します。開設当初は、2.5 人で走り回っていましたが、昨年の７月より新しいスタッフが加わり５人となりました。新しい元号に変わり、気分も一新して、相双地域の利用者さんとご家族の笑顔が益々増えるように「あなたのままで、あなたらしく」をモットーに支援をしていきたいと考えています。精神科訪問看護をやりたい方、なごみへ来てみませんか！！（佐藤）

訪問看護ステーション

アウトリーチ

アウトリーチチーム新体制！

　アウトリーチ推進事業（震災対応型）です。震災から月日を重ねるごとに、日々の生活での困りごとをお持ちの方との出会いも、形を変えてきているように思います。また、抱えている課題も多様化してきている、そんな中、私たちは何が出来るのか、ご本人の思いを大切にしながら、今年度も取り組んでいきたいと思います。よろしくお願いします。（木島）

地域活動支援センター／相談支援事業所なごみ CLUB より

　なごみ CLUB は任意活動から始めて７年目になりました。開設当初は２名の利用者からスタートでしたが、現在では約 10 余名の方が利用しています。毎月利用者さんたち自身がプログラムの内容を計画し、手工芸、カラオケなどの趣味を活かした活動に取り組んでいます。これからも様々な活動を通して、安心できる場所でその人らしく生活が送れるようお手伝いさせていただきます。（大谷）

なごみ CLUB

こころのケアセンター

2019 年度ケアセンターの「いつも」がはじまりました

　相馬広域こころのケアセンターなごみは、いつものスタッフで新年度を迎えることができました。今年の目標は、飯舘村や浪江町の、支援につながりにくい住民さんの支援の充実です。現在も遠くの避難先で生きづらさを感じ、ＳＯＳを出せずにいる方もいらっしゃるでしょう。帰還か避難先の定住を迫られ、誰にも頼ることのできない方がまだいらっしゃいます。このような住民さんが、今いる場所で誰かに見守られる地域をつくるお手伝いをしたい、それが私たちの願いです。（米倉）

相双地区のようす　～大熊町避難指示解除～

　東京電力福島第一原発事故で全町民約１万人が避難している福島県大熊町。帰還困難区域以外の避難指示が、４月１０日に解除になりました。解除対象は、町西側の大川原地区（居住制限区域）と中屋敷地区（避難指示解除準備区域）です。町面積の約４割、町民の約４%、１３８世帯３６７人（２月末現在）が住民登録している地域です。町内に新たな役場庁舎と復興公営住宅を建設しての再出発です。震災から９年目と多くの時間が経過していますが、地域の変化は常に現在進行形です。（伏見）